

科名 外科

対象疾患 HER2陽性乳癌

プロトコール名 フェスゴ+PTX2回目以降

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	...	8	...	15	...	21
1	皮下注		フェスゴMA	10mL	大腿部に5分以上かけて 初回忍容性良好であれば投与後15分経過観察	↓						
2	点滴注	メイン	生理食塩液	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓		↓		
3	点滴注	側管	デキサート	6.6mg	30分かけて	↓		↓		↓		
			ファモチジン	20mg								
			生食	50mL								
4	点滴注	側管	ボラミン	5mg	30分かけて	↓		↓		↓		
			生食	50mL								
5	点滴注	側管	パクリタキセル	80mg/m ²	60分かけて	↓		↓		↓		
			生食	250mL								

★1クール＝21日

～MEMO～

催吐レベル2(10%以上30%未満)

<フェスゴ>

痩せている等、皮下組織が少ないまたは下肢浮腫により大腿部への皮下投与が難しい患者はベルツズマブ、トラスツズマブの点滴静注の投与を検討

6週以上投与間隔が空いた場合はフェスゴINから投与する。

投与部位は大腿のみ(トラスツズマブ皮下製剤の試験において腹部に比べ大腿への投与のほうがバイオアベイラビリティが30%高かったとの報告がある。)

<パクリタキセル>

アルコール含有。アルコールアレルギーの確認を。

PVCフリーかつフィルター付きのものを使用。

アレルギー対策：初回デキサート増量(13.2mg)

初回、二回目まではアレルギーの出現に注意。

パクリタキセル投与開始から10分間はベッドサイドを離れない。

自然落下方式で投与する場合、輸液セットに表示されている滴数で投与速度を設定すると、目標に比べ投与速度が低下するので、滴数を増加させて設定する等の調整が必要である。

滴下制御型輸液ポンプを用いる場合は、流量を増加させて設定する等の調整が必要である。